

MMG-70 用 CSV 自動出力オプション

MMG-70-02 は、MMG-70U/MMG-70US(以下、MMG-70)に対応したオプション機能で、CSV ファイルの転送による設定変更や、自動的なプリセットの送出を実現します。

■特長

- ✓ CSV ファイルの転送により、プリセット内の表示文字列の更新や書体の設定変更が可能
- ✓ プリセットの表示期間は、時間経過またはロール出力終了後から選択 ※1
- ✓ 指定時間 CSV を受信しなかったり、受信 CSV に異常があった際はアラームで通知が可能
- ✓ CSV ファイル転送による更新対象は分離出力モードであれば系統毎に指定が可能

※1 ロール出力には MMG-70-01 オプションが必要です。

機能

CSV 転送機能は、規定された CSV ファイルを、FTP プロトコルを使用して MMG-70 に転送することで、設定アプリを介さずに素材の設定を更新する機能を提供します。

あくまで数値上の設定の更新のみで、静止画やフォント等、素材ファイルそのものの更新には対応していません。

自動出力機能は、制御モードの 1 種として追加されます(本体設定「制御方式」で「自動出力」を選択します)。

指定秒経過またはロール(MMG-70-01)送出完了で、プリセットを順繰り送出します。

上記 CSV 転送機能と組み合わせて、テロップを更新しながら自動送出することが可能です。

CSV転送

以下の CSV ファイルを使用可能です。各々は CSV ファイル名で識別されます。

1.素材設定を変更する CSV ファイル

素材番号を指定し、各設定を更新します。

2.プリセット設定を変更する CSV ファイル

プリセットを指定し、各設定を更新します。

指定プリセットは、プリセット番号の直接指定か、自動出力機能向けの送出中プリセットを起点にした順次指定が行えます。

3.プリセット設定に紐づく素材の設定を変更する CSV ファイル

プリセットを指定し、そのプリセットの各レイヤーで使用されている素材の設定を更新します。

指定プリセットは、プリセット番号の直接指定か、自動出力機能向けの送出中プリセットを起点にした順次指定が行えます。

ニュースサーバー等のクライアントは CSV ファイルを FTP により MMG-70 に転送し、MMG-70 は受信した CSV ファイルの正当性を確認後、設定の更新を行います。

自動出力

MMG-70 の最大 32 種類のプリセットを、自動出力開始の外部制御を受けた時点から自動的に送出を行います(時刻の指定は時計信号の入力に非対応のため、対応していません)。

設定によっては、外部制御なしで自動出力を開始することもできます。

プリセットの表示時間は、プリセット毎の固定秒指定またはロール送出完了時点で、次のプリセットへ切り替わります。

末尾までのプリセット送出が終わると、先頭のプリセットに戻って送出を続けます。

外部制御

自動出力機能の実装に伴い、入力および出力への機能追加を行います。

入力(P-IN コネクタ)には、自動送出開始、自動出力停止、受信 CSV のエラー状態をクリアする機能を追加します。

出力(P-OUT コネクタ)には、自動出力実行中ステータス、CSV 受信に異常があった際のエラーアラームを追加します。

追加された機能は、任意のピンアサインで指定することができます。

(1)P-IN の追加機能について

ピン番号	信号	機能
1	PI0	自動出力開始(EPLY) 自動出力停止(ESTP) 自動出力開始/停止(EPLY_L) 受信 CSV エラー解除(ACLR_CSVE)
2	PI1	
3	PI2	
4	PI3	
5	PI4	
6	PI5	
7	PI6	
8	PI7	
9	PI8	
10	PI9	
11	PI10	
12	GND	グラウンド

(2) P-OUT の追加機能について

ピン番号	信号	機能	
1	B0		
2	B1		
3	B2		
4	B3		
5	B4		自動出力実行中(EPLY)
6	B5		CSV 受信タイムアウト(ECSVT)
7	B6		受信 CSV エラー(ECSVE)
8	B7		
9	B8		
10	B9		
11	B10		
12	GND	グラウンド	